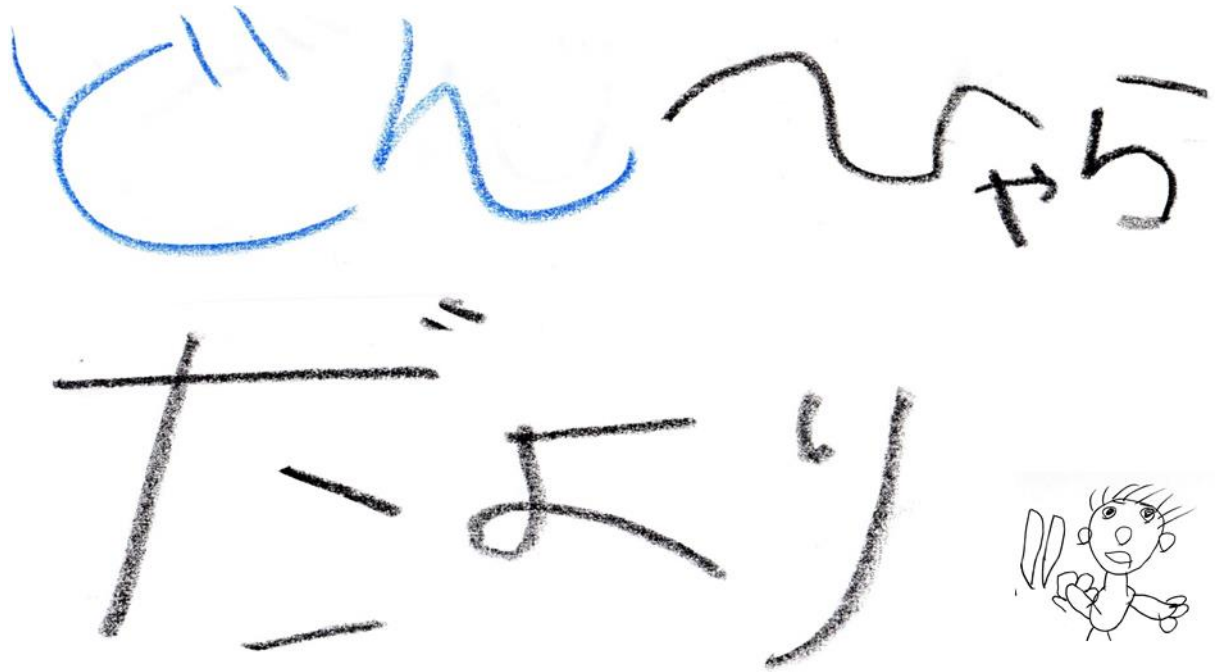




第 16 号

2020 年度上半期（2020 年 4 月～2020 年 9 月）の活動記録

2020 年 3 月～7 月初めは、新型コロナウイルス感染予防のため、個人レッスン・集団活動ともに自粛しておりましたが、7 月半ばから徐々に再開しております。ただ、イベントや訪問演奏などはすべて中止、皆マスク着用・ソーシャルディスタンスを保っての活動です。

2020 年度下半期（2020 年 10 月～2021 年 3 月）の活動予定

大井裕子先生の作詞・作曲による「コロナに負けないで」の歌プロジェクトが JDS（日本ダウン症協会）奈良北支部の主導で始まり、アゴラのメンバーも応募しました。また現在、アゴラ音楽クラブ版「コロナに負けないで」を製作中です。完成しましたら改めてお知らせいたします。YouTube にアップされますので是非ご覧ください。

なお、2021 年はアゴラ音楽クラブが NPO 法人化して 10 周年になります。9 月 11 日（土）にやまと郡山城ホール小ホールにて記念コンサートを予定しておりますので、ぜひご来場ください。

アゴラ音楽クラブの活動より

ダンスクラブより

今ダンスに参加されているメンバーの方はいつも元気にのびのびとダンスを楽しんでくださっています。また、素晴らしいその表現力と創造性、繊細な動きからダイナミックな動きまで幅広く表現し、なりきって踊る姿はダンサーです。皆さんにダンスを指導しながら私はいつも感動しています。最近は、自然発生的にワンマンショーの時間ができ、ダンスクラブの時間内にソロで踊る時間があります。皆さんダンスが本当に好きですから、もっと踊りたいと意欲満々です。



さて、今回メンバーの方と保護者の方に、「ダンスをやって良かった点やダンスを踊っていると思うこと」について突撃インタビューを行いました。インタビューの日は、都合が悪い方もおられ、参加者は3人でしたが、保護者の方にもお聞きすることができました。その内容を紹介いたします。

中村将人さん（鬼塚君）

友達が「鬼塚君」というニックネームをつけてくれたので、その名前でもなりきってダンスで表現するのがとても楽しいです。嫌なことがあったりストレスが溜まったりしても、ダンスをやると発散できます。それがうれしいです。先生も頑張ってもらいたいので、これからもよろしくお願いします。

山本泰滋（相葉君）

ダンス頑張ってます。楽しかったです。特に嵐の曲が好きです。

山本さん母

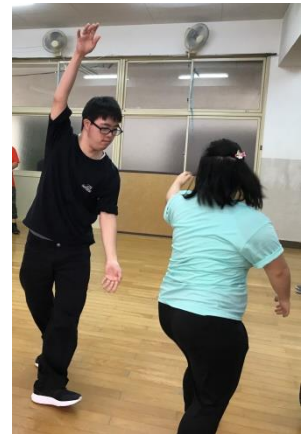
仕事場との行き帰りであったりコロナの関係でなかなか体を動かすことができなかったですが、ここに来てワンマンショーで自分で好きに踊られる時間があってストレス発散になっているのかなと思っています。

田野杏佳さん（翔君）

嵐の曲で踊って楽しかったです。迷宮ラブソングとワイルドアットハートをワンマンショーでまた踊りたいです。

田野さん母

仕事場でもこういうコロナの関係でスポーツの時間やウォーキングの時間が全くなくなっている状況です。仕事は今刺繍をずっとしているので、体を動かすことが全然できていないです。見ていると、溜まったものをダンスで本当に楽しそうに体を動かして一生懸命踊っているの、発散ができていますのかと思っています。この時間は本当に貴重な時間だと思います。



このようなご意見をいただきました。このアゴラのダンスの指導の指針にもあるように、ダンスには運動不足を解消し、からだがしなやかになるという身体的効果のみならず、ストレスの解消や心の癒しといった心理的効果もあります。まさにそれに沿った効果が見いだせたことは喜ばしいことです。今後も、この場がこのような「からだ・こころ」を元気にするダンスクラブでありたいものです。

さて、ダンスで体を動かしてみたい方、ダンスに関心のある方は、ぜひこのアゴラダンスクラブに来てください。お待ちしております♪ （指導：向出章子）

マリンバクラス

マリンバ 4 名、ピアノ（ときどきカホンやドラム）1 名の仲間がレッスンに来てくれています。皆それぞれに個性的で楽しいメンバーばかりですので、いつもレッスン時間があっという間に過ぎてしまいます。時には、漫才になるメンバーも！レッスンは基本的には個人レッスンで、一人一人の様子を見ながら、個々に合った指導を心掛けています。また、コンサートの時にはアンサンブルのレッスンも取り入れています。仲間と一緒にアンサンブルするのは、とても楽しいようです。今はコロナ感染防止の為に、アンサンブル練習はできていませんが、早くアンサンブル練習ができる日が来ることを願っています。

今年はコロナの影響で発表の場がなくなり とても残念ですが、そこは明るいメンバー達！次のアゴラのコンサートに向けてレパートリーを増やしています。



マリンバはちょっとむずかしいけど、楽しいです！これからがんばります！

レパートリーもたくさん増えて、練習するのが楽しみです！



レッスンのある日は、先生に会えるのが楽しみです。マリンバ大好き！みんなとのアンサンブルも大好きです。これからがんばりま〜す！



コンサートで素敵な演奏が出来るよう頑張っています♡

ドラムにも挑戦！



新しくメンバーが増えました！



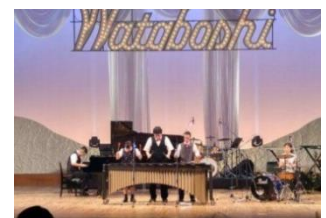
これから練習をして、上手になるように頑張りたいです

（保護者の方より） マリンバのことが好きになり、楽しめる趣味になって、とてもポジティブな時間をたくさん過ごすことができれば嬉しいです。

【保護者のコメント】

- ・マリンバを長く続けていますが、音楽を通して学べるがたくさんあります。音の力は、息子の成長にとってもプラスになっています。
- ・レッスンをとても楽しみにしている様子がうかがえ、親としてとても嬉しく思っています。間違えても根気強く何回も何回も納得のいくまで頑張っています。
- ・マリンバを続けていて感じたことは、集中力が養われているということです。また、向上心を持てるようになり、日々の生活にも潤いをもたらしています。
- ・二十歳を過ぎ、ふと気付くと自らレッスンに向き合い、学ぶ姿を見せてくれることに成長を感じます。そして、音楽を一緒に楽しめる仲間がいることに喜びを感じ、それが日々の活力となり笑顔につながっていることを嬉しく思います。

わたぼうし音楽祭（2018 年）のオープニングで演奏！楽しかったよ♪



アゴラ太鼓より

今年度はコンサートやイベントも講習会もすべて自粛・・・この機会に、と皆様からのご支援金を活用させて頂いて、穴が開いた長胴太鼓の皮や糸が切れてしまった締め太鼓の皮を張り替えました。1尺5寸の皮1枚、締め太鼓の皮7枚で総額 334,675 円でした。ありがとうございました！

いつかメンテナンスをと思いながら延ばし延ばしにしてきたのですが、コロナがチャンスを与えてくれるとは！新しい皮、しっかり打ち込んでいい音にしていきたいと思います。

今年はなんと、アゴラ太鼓結成 25 周年！！

現在アゴラ太鼓が所有している太鼓は、長胴太鼓 10 台、締め太鼓 9 台、桶太鼓 9 台です。発足当時は古タイヤをたたいて練習していたのが嘘のように思えます。その後もポリエチレン製の胴に合成の皮を張った太鼓（それでも高価でしたが）を揃えましたが、湿気が多いと全く音が鳴らなくて、これではダメだ、と 1 台ずつ本物の太鼓に買い替えていきました。これも皆様からのご支援のおかげです。心よりお礼申し上げます。



皮を張り替えた太鼓たちです



アゴラ太鼓は現在 20 年以上続けている吉田君、菅原君をはじめ 8 名のメンバーとベテランのお母さんたちで構成する A チーム、入会して 1 年未満～5 年くらいのメンバー 7 名とお母さんたちの B チームに分かれて練習しています。A チームは難しい曲にもどんどん挑戦、B チームも音やポーズがだいぶ揃うようになりました。

来年のコンサートに向けて、全員力を合わせてがんばります！

(指導：水崎一充、水野恵理子)

JDS 奈良北支部の「コロナに負けないで」歌プロジェクトに参加

日本ダウン症協会（JDS）奈良北支部（バンビーナの会）の歌プロジェクトに、アゴラ音楽クラブのメンバーも参加しました。歌のタイトルは、「コロナに負けないで」。JDS 奈良北支部では、新型コロナウイルスから大切な命を守るため、また新しい生活様式である基本動作の習慣を促すために企画されました。

「コロナに負けないで」歌プロジェクト誕生秘話

春の緊急事態宣言で自粛生活を余儀なくされていた中、個別レッスンでお世話になっている音楽療法士の大井裕子先生が「コロナに負けないで」という曲を作詞作曲して下さいました。初めて曲を聞かせていただいた時、龍之介の表情がパッと明るくなり、私の心に勇気が湧いてきました。万が一、パンデミックなど非常事態に陥った時に、「年齢」以外の基準がトリアージになり、障がいのある人達にとって不利益が生じないように、この歌を世界中に広めたい！

その夢が多くの方々の御支援を得て形になり「コロナに負けない歌プロジェクト」が誕生しました。障がいのある人たちと応援して下さいる人たちに歌唱演奏と共に基本の新生活様式（手洗い・うがい・マスク・社会的距離を取る等）の実践動画を投稿いただき、YouTube と Facebook の公式チャンネルで歌と映像のリレーを繋ぎ発信する企画です。紹介編からアゴラ音楽クラブ制作の楽器演奏編など、この企画に賛同いただきました皆様の投稿動画を配信中。御協力いただきました皆様に心より御礼申し上げますと共に、皆様のご健勝をお祈りいたします。ありがとうございました。

JDS 奈良北支部 支部長 平井万里子 拝



JDS 奈良北支部の Facebook

アゴラ音楽クラブ制作 楽器演奏編 「コロナに負けないで」



ドンドン ドンドン



ドンドン ドンドン



ドコドコドココ ドン



ダンスチーム



手を洗おう うがいしよう 自分を守るため



マスクして 小さな声で みんなを守るため



当たり前だった日々を早く取り戻せるように



当たり前だった日々を感謝して過ごせるように



窓開けて 換気して 自分を守るため



少人数で ひっつかないで みんなを守るため



笑顔溢れる日々を目指しみんなで乗り超えよう



笑顔溢れる日々を信じてコロナに負けないで



♪ ミレミファソ～ ドシドレミ～ ♪



♪ ドファソラララファレシラソ～ ♪



大きな声で歌を 歌えるその日が来るように



大きな声で歌を みんなで歌えるその日まで

認定NPO法人の更新が認められました！

早いもので認定NPO法人として活動を始めてから、5年がたち、昨年末に更新の手続きを行いました。連日苦手な数字と格闘、書類を作成する作業を経て、ようやく更新が認められた次第ですが、なぜ認定にこだわるのか、それは奈良から「認定NPO法人」の火を消したくない…現在のところ奈良県で「認定NPO法人」はただ1つ、アゴラ音楽クラブだけだからです。

ところで「認定NPO法人」って何でしょう？

お世話になっている「市民活動を支える制度を作る会 NPO法人シーズ」さんのHPから言葉を借りると・・・「認定NPO法人」とは、NPO法人のうち

“「一定の基準を満たしている」と所轄庁（都道府県・政令市）が認めた法人”
のことです。

都道府県や政令市に「認証」されたNPO法人が、「基準を満たしている」ことを【認定】される事によって認定NPO法人へとステップアップします。

すなわち「より客観的な基準において、高い公益性をもっている」ことを判定された法人であるということになります。

「認定NPO法人」であることにどのようなメリットがあるのでしょうか？

1. 個人が認定NPO法人に寄付をした場合 → 「寄付金控除」を受けられます。

個人が認定NPO法人へ寄付をした場合「寄付金控除」制度が適用され、確定申告をすることで、税金の還付を受けることができます。 ※寄附金・賛助金受領証明書は確定申告まで保管して下さい。

2. 法人が認定NPO法人に寄付をした場合 → 損金に算入できる金額が拡大されます。

「特別損金算入限度額」扱いとなり、一般のNPO法人への寄付と比べ、経費として扱える寄付金の限度額が高くなります。

3. 相続人が認定NPO法人に相続財産を寄付した場合 → 寄付をした相続財産は相続税が非課税になります。

NPO法人シーズさんの「わかる！寄付金控除」<https://www.nintei-torou.net/> 参照

まだ規模も小さく、公益性のある活動が十分できているとは言えませんが、今後には是非ご期待ください。障害のある子どもたちも、ない子どもたちと同じように大好きな音楽に取り組めるインクルーシブな環境を作っていきたいと思っています。

今後とも皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

《編集後記》

まさかこんなに世の中が変わってしまうなんて、誰しもが想像もしていなかったことでしょう。音楽療法士として高齢者施設に出入りしている私は、最初に自粛を求められたのが2月7日だったことを鮮明に思い出します。その後、他の施設も歌唱による飛沫感染予防のため、またクラスター発生予防のため、音楽活動の自粛を余儀なくされました。

時同じくして、アゴラ音楽クラブでも太鼓やダンスの集団での活動がまず休止となり、その後、個人でのレッスンもその運びとなりました。さらに4月7日には、緊急事態宣言が発令され、日本中のさまざまな場所、場面で自粛が要請され、ますます人との接触が遮断されました。

「不要不急」の外出を控えるようにと連日報道され、毎日毎日家で過ごす不安の中、テレビからいつも呼びかけられていたのは、手を正しく洗いましょう！うがいをしましょう！マスクをつけて！三密（密閉、密集、密接）を避けて！ソーシャルディスタンスをとって！などのメッセージが繰り返されていました。そんな時、そうだ！何もできない今、歌を作ろう！いつかまた再開できた時にみんなで歌いたい！と希望を持って。そう思って何気なく作った曲がまさかこんな素敵なプロジェクトに関わらせていただくことになろうとは、私自身、夢にも思ってもみませんでした。まもなく長い緊急事態宣言が解除され、徐々に様子を伺いながら、6月半ばにアゴラ音楽クラブの個人レッスンは再開されました。久しぶりにみんなに会えた時の喜びは、どんなに愛おしく、感謝したことでしょう。みんなに支えられていたのは、私だったのだと実感した瞬間でした。嬉しさを噛み締めながら、初めてこの曲を歌ったことがきっかけとなりました。聴いてくださった平井様がこの拙い曲をあたたかく受け止めてくださり、そして今回の歌プロジェクトに繋がったのです。もしこの度のコロナがなかったら この曲を生み出すことも、この企画も、場面場面をバトンタッチしていくという映像にも繋がらなかったと思うと複雑な気持ちになります。

現在では、感染を予防しながら日常生活を送る with コロナの時代となりました。コロナ前にはオンライン、テレワーク、リモートワークなどの言葉も一般的にはここまで普及していなかったと思われるが、今では当たり前、働き方改革も促されています。時代はこのような形を辿りながら徐々に変化していくのでしょうか。

コロナの影響で今年はアゴラ音楽クラブでもたくさんの予定されていた行事が自粛されました。しかし来年9月11日(土)には、NPO 法人設立10周年の記念すべきコンサートを催すことができる明るい運びに恵まれました。with コロナと向き合いながら、もう一度感謝の気持ちを新たに、メンバー一丸となって希望を持って練習に取り組んでいきたいと思っています。

是非、会場に足をお運びいただき、エールをいただければ幸いです。(記、大井)

編集: アゴラ音楽クラブ広報 取違優子 大井裕子
認定 NPO 法人アゴラ音楽クラブ

〒631-0076 奈良市富雄北1-12-4 アゴラビル BF

Tel/Fax: 0742-77-8964

Tel: 090-3941-6892 (代表:水野恵理子)

E-mail: eriko.agora@gmail.com

Web page: <http://www.agora-mc.com/>

Facebook: <http://www.facebook.com/agoramusicclub>